

参加しませんか！

《 都留市は、本年3月に「男女共同参画都市」となることを宣言します 》

本市は、男女共同参画宣言都市奨励事業を内閣府との共催により実施します。この事業は、男女共同参画社会づくりに積極的に取り組む「男女共同参画宣言都市」となることによって、これまでの施策に加え、さらなる市民意識の
変革と具体的に実効性のある男女共同参画社会の
実現に向けて、その機運を広く醸成
することを目的に行います。

日 時 三月四日(日)

午後一時～三時五十分

場 所 都留市文化ホール

大ホール

内 容

①式典【一時～二時】

・男女共同参画都市宣言文発表

・男女共同参画推進本部報告

②講演【二時～三時五十分】

(演題)

「女と男が共に力を

出し合う社会」

～二十一世紀

あなたはどう生きる？」

(講師)

金谷 千慧子氏

(女性と仕事研究所代表)

※男女共同参画に関するパネ

ルコーナーを大ホール入り

口付近に展示

◎入場無料

◎申し込み不要(性別、年齢を

問わず、どなたでもご自由

にご参加ください)

◎主 催

男女共同参画推進本部

内閣府及び都留市

男女共同参画宣言都市奨励

事業は、平成六年度からスタ

ートし、平成十一年度までに

国内で三十の自治体が宣言都

市に選ばれました。今年度は、

本市をはじめ、七市の自治体

が宣言都市となる予定です。

問合せ 政策形成課 政策担当

シリーズ34

「男女共同参画社会実現に向けて」

『日本女性会議2000津』からの報告(その2)

都留市男女共同参画推進委員会

《そらや！女も男もおんなじ人間やんか》

「日本女性会議2000津」が、昨年十一月十日から十一日にかけて、三重県津市の県総合文化センターをメイン会場として開催されました。「そらや！女も男もおんなじ人間やんか」というテーマで、男女共同参画社会の実現のための話し合いが行われました。当日は、津の駅からメイン会場の総合文化センターまでは、シャトルバスが運行されましたが、全国から三千八百人を超える人たちが集まったため、ピストン輸送されたバスはどれも大変な人で混雑していました。

基調講演では、作家の落合恵子さんが、「あなたは、あなたの人生を十分生きていますか。女だからとブレイキをかけていませんか。女も男も従来の『女らしさ』や『男らしさ』といった窮屈な枠組みを超えてそれぞれ自分色に輝くためにちよつと立ち止まって一緒に考えてみましよう」というメッセージを投げかけて、女性の社会参加の必要性をなめらかに語りかけるように講演されました。

基調講演に続いて、分科会が十に分かれて開催され、私は「高齢者・障害者福祉」をテーマとした第五分科会に参加しました。金城学院大学教授の杉本貴代菜さんをコーディネーターに迎え、「誰もが自分らしく生きられるように一緒に創ろうバリアフリ―社会」を目指し、三人のパネリストによる話し合いがなされました。

「あと十年もしたら、必ず訪れるであろう少子高齢化社会。その時には女性の社会参画が必要になる。その時に子育てはどうするか。それには、四百五十日の育児休暇と保育施設の充実こそがもつとも必要なのだ」と早稲田大学教授の岡沢憲美さんが言っていました。

私は、今から訪れるであろうその社会を思うと、「男も女も共に思いやって生きていくことのできる豊かな社会の形成」こそが、これからの男女共同参画社会を実現するうえで最大のテーマであると確信しました。